

取扱説明書

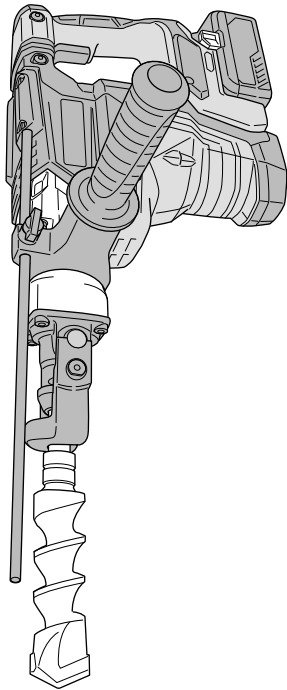
用途

- コンクリートの穴あけ
- アンカ下穴あけ
- コンクリートのハツリ、破碎、溝掘り、角出し、切断、はがし

日立 コードレスハンマドリル

36 V DH 36DSA [六角シャンクタイプ]

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。
This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended.No authorized service or warranty is available outside of Japan.

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
USB 機器との接続時のご注意	7
リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
各部の名称	9
標準付属品	10
仕様	11
各種先端工具のご紹介	13

はじめに

基本機能について	15
工具の取付け・取りはずし	18
回転数・打撃数の調整	19
保護機能について	19
RFC について	20
スリップクラッチ機構について	20
穴をあける	21
ハツリ・破碎する	23
作業上のご注意	25
アンカの穴あけ・打ち込み作業方法	26
コアビットの使い方	27
蓄電池を充電する	29
USB 機器を充電する	31

使い方

保守・点検	33
故障診断	37
ご修理のときは	裏表紙

その他

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠ 警告**」、「**⚠ 注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠ 注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。

指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。
異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 充電器の使用温度範囲外では、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。
また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電や火災の恐れがあります。

⚠ 警告

- ③ **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- ⑤ **感電に注意してください。**
ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。
- ⑥ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用したり、放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体・ガスがある所での使用、充電、保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑦ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑧ **加工するものをしっかりと固定してください。**
加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。
- ⑨ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 刃物、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑪ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。
- ⑫ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が 50℃ 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネckレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスハンマドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に良く確かめてください。
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、振り回されないようにサイドハンドルを付け、機体を両手で確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、工具類に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ④ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑤ 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことを良く点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑥ シリカや石綿（アスベスト）は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をして下さい。
- ⑦ 蓄電池は確実に取付けてください。
確実にないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
特に高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
- ⑧ 工具本体、および蓄電池の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
蓄電池を取付けた場合に短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑨ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、コンクリート粉じんや切りくず、ほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部にコンクリート粉じんや切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いたコンクリート粉じんや切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後にコンクリート粉じんや切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。

⚠注意

- ① 工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ③ 騒音からの保護のため、耳栓を着用してください。
- ④ 作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。
- ⑤ 作業直後の工具類およびその取付部周辺は高温になっているので、触れないでください。
やけどの原因になります。
- ⑥ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑦ 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。
けがの原因になります。
- ⑧ 作業の際、機体を無理に押し付けしないでください。
先端工具を傷めて作業効率が低下するだけでなく、機体の寿命低下につながります。
- ⑨ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ⑩ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑪ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑫ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

USB 機器との接続時のご注意

本製品に標準付属 (NNK 仕様を除く) されている充電器には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

USB 機器を充電する際は、以下の内容を守ってください。

予期できない問題が生じた場合、接続した USB 機器の内部に保存されているデータが破損したり消失する可能性があります。万一の場合に備えて、必ず事前にバックアップをしてください。

なお、USB 機器との接続において、USB 機器の内部に保存されているデータの破損または消失および接続機器の故障については、いかなる場合においても弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NNK 仕様を除く) リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
このときは速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
このときは、蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次項に述べる注意事項を守ってください。

警告

蓄電池の液漏れ、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

- ① **蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。**
 - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 作業中に機体に付いた切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
 - 使用しないときに切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品 (ねじ、釘など) とは別々にしてください。

⚠ 警告

- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-) を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。
- ⑧ 蓄電池が液漏れしたり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑨ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑩ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形、その他異常に気がついたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

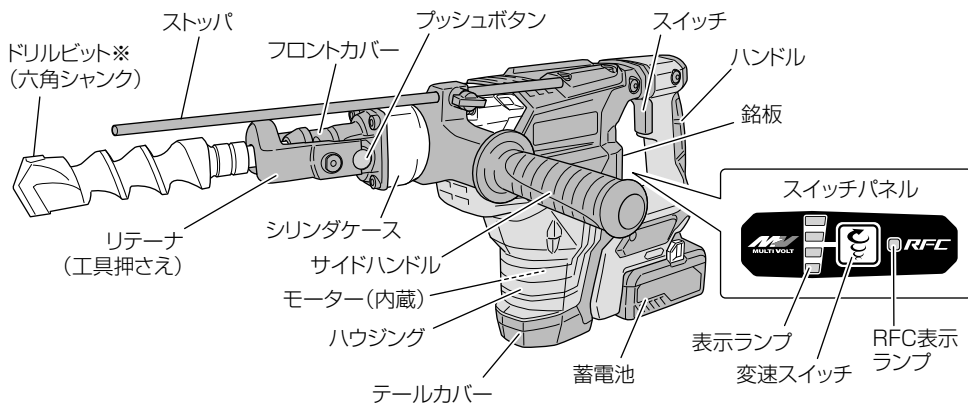


○ 新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

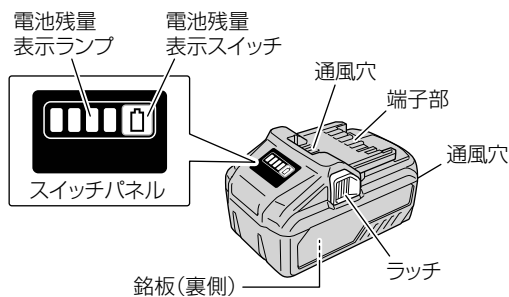
各部の名称

工具本体

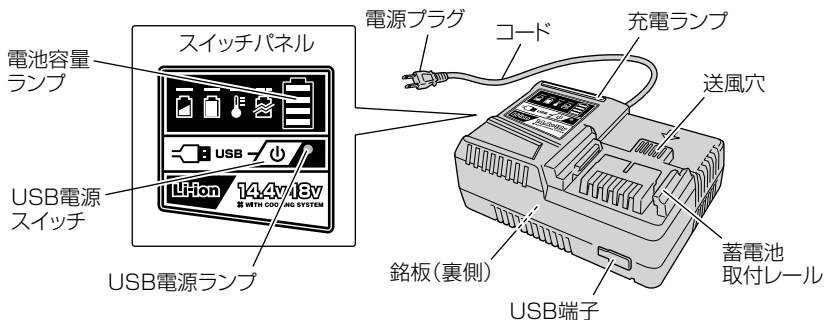


※ドリルビットは別売りです

蓄電池


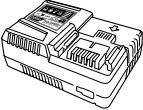
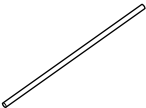
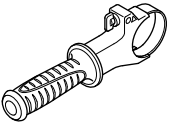
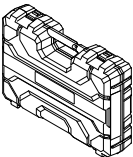

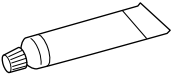


充電器



標準付属品

はじめてに

品名（形名）	形名 仕様	DH 36DSA	
		2XP	NNK
蓄電池 (BSL 36B18) 		2 個	—
充電器 (UC 18YDL) 		1 台	—
ストッパ 		1 本	1 本
サイドハンドル ※本体装着 		1 個	1 個
収納ケース 		1 個	1 個
電池カバー 		2 個	—
ハンマグリース A 		1 個	1 個

仕 様

1. 工具体体

形 名	DH 36DSA
穴 あ け 能 力	ドリルビット：40 mm、コアビット：105 mm
無 負 荷 回 転 数 [気温 20℃満充電時]	260 ～ 590 min ⁻¹ { 回 / 分 }
全 負 荷 打 撃 数 [気温 20℃満充電時]	1,420 ～ 2,860 min ⁻¹ { 回 / 分 }
モ ー タ ー	直流ブラシレスモーター
適 用 ビ ッ ト	六角シャンクタイプ
質 量 (サイドハンドルを含む)	8.0 kg (BSL 36B18 装着時)
使用可能蓄電池 ^{※1}	マルチボルトタイプ蓄電池
振動 3 軸 合 成 値 ^{※2}	回転+打撃：9.6 m/s ² ^{※3} 打撃：9.2 m/s ²

※1：既存の蓄電池 (BSL 3660/3626/3620、および BSL 18xx、BSL 14xx シリーズ) は使用できません。

※2：振動 3 軸合成値 (周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値) については、JEMA [一般社団法人日本電機工業会]
ウェブサイト：<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>
をご参照ください。

※3：振動 3 軸合成値は、EN60745-2-6 規格に基づき測定しています。

2. 蓄電池

形 名	BSL 36B18
蓄 電 池	円筒密閉形リチウムイオン電池
電 池 電 圧	36 V / 18 V (自動切替 ^{※1})
容 量	4.0 Ah / 8.0 Ah (自動切替 ^{※1})
冷 却	対応
使 用 可 能 な コードレス製品 ^{※2}	18 V 品 36 V 品：マルチボルトタイプ蓄電池対応製品
使用可能な充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器
残 量 表 示 ラ ン プ	緑色 LED

※1：工具体体により自動で切り替わります。

※2：詳細は弊社総合カタログなどで確認してください。

3. 充電器

形 名		UC 18YDL		
充 電 可 能 蓄 電 池		リチウムイオン電池 14.4 V (BSL14xxシリーズ)、18 V (BSL18xxシリーズ)、 マルチボルトタイプ蓄電池		
入 力 電 源		単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V		
蓄 電 池	充電電圧	14.4 V または 18 V		18 V
	タ イ プ	標 準	薄型軽量	マルチボルト
	充電時間※1 [気温20℃時]	BSL 1460 : 約 30 分 BSL 1860 : 約 30 分	BSL 1430C : 約 30 分 BSL 1830C : 約 30 分	BSL 36A18 : 約 25 分 BSL 36B18 : 約 40 分
		BSL 1450 : 約 25 分 BSL 1850 : 約 25 分	BSL 1425 : 約 25 分 BSL 1825 : 約 25 分	
		BSL 1440 : 約 20 分 BSL 1840 : 約 20 分	BSL 1420 : 約 20 分 BSL 1820 : 約 20 分	
		BSL 1430 : 約 15 分 BSL 1830 : 約 15 分	BSL 1415 : 約 15 分 BSL 1815 : 約 15 分	
	充電電流	12.0 A	6.0 A	12.0 A
USB端子	充電電圧	5 V		
	充電電流	2 A		
コ ー ド		2 心ビニールコード		
質 量		0.8 kg		
使 用 温 度 範 囲※2		- 10 ~ 40℃		
冷 却		対応 (ファン付き)		
ブ ザ ー 音		あり		

※1: 蓄電池の充電時間は、周囲温度や蓄電池の状態により長くなるときがあります。

※2: 周囲温度が 0℃未満のときは、充電時間が長くなります。

各種先端工具のご紹介

用途に応じた先端工具（アタッチメント）をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

なお、本製品の工具取付部は六角シャンクタイプとなっておりますので、このタイプの先端工具または接続工具を使用してください。

● " 回転 + 打撃 " モードで使用

先端工具

- コンクリート、石材の穴あけ
- アンカ下穴あけ



ドリルビット(六角シャンク)

- 大径穴あけ



ガイドプレート センタピン コアビット

- 自穿孔用アンカ作業



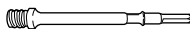
自穿孔用アンカ(市販品)

- ケミカルアンカ用ボルト打ち込み



ソケット(市販品)

接続工具



コアビットシャンク
(六角シャンク)



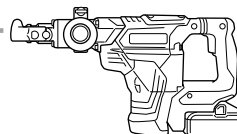
アンカアダプタ



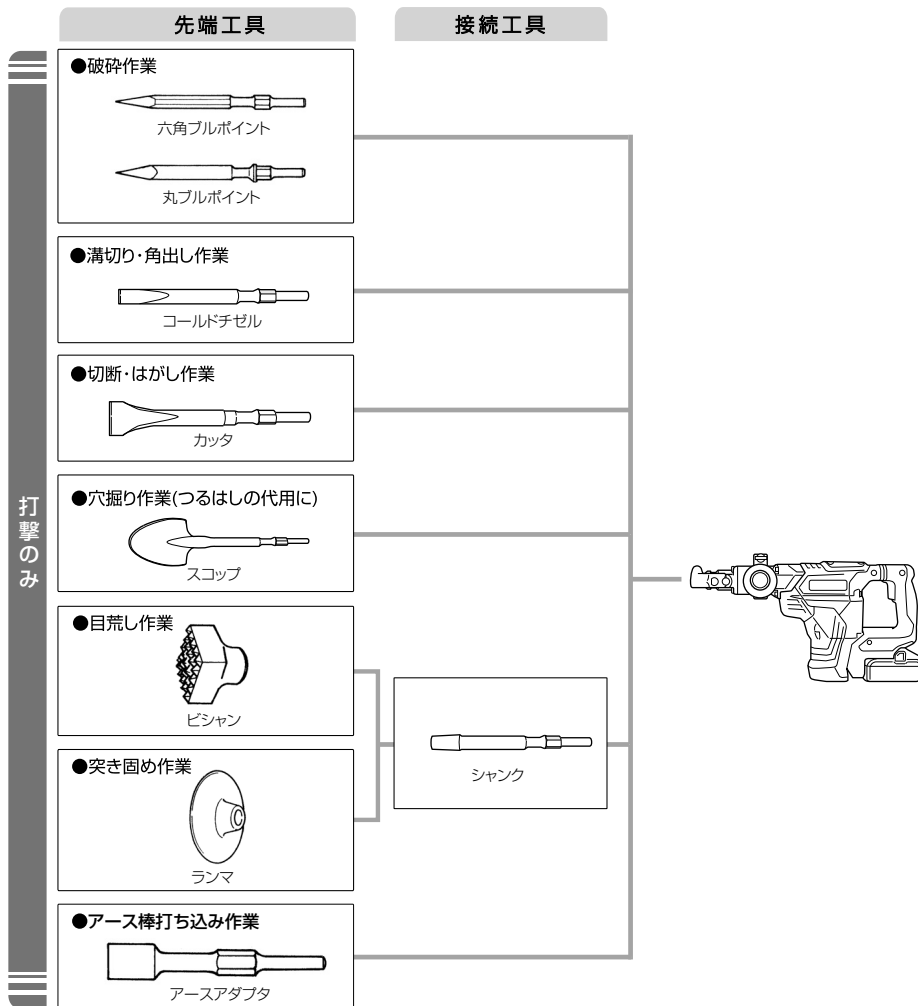
ドリフトキー



ケミカルアンカアダプタ
(六角シャンク)



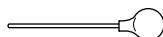
● " 打撃 " モードで使用



はじめに

●その他

●スポート(穴あけ後の切り粉除去用)



ゴム球式



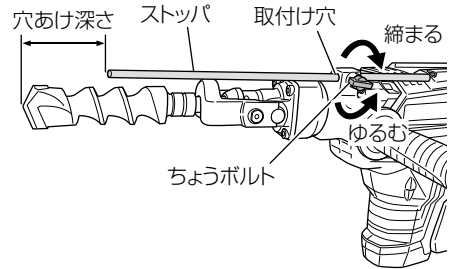
ジャバラ式

基本機能について

●ストッパの使い方

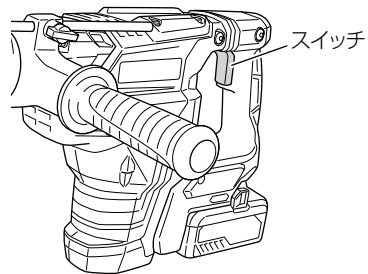
ストッパは穴あけ深さの調整に用いるものです。
同じ深さの穴を連続してあける場合、能率が上がり、穴の深さが正確になります。

- 1** ちょうボルトを回してゆるめ、サイドハンドルの取付け穴にストッパを通します。
- 2** 所定の穴深さになったときストッパが材料に突き当たるよう位置を調整し、ちょうボルトを回してしっかりと固定します。



●スイッチについて

スイッチは引くと入り、はなすと切れます。



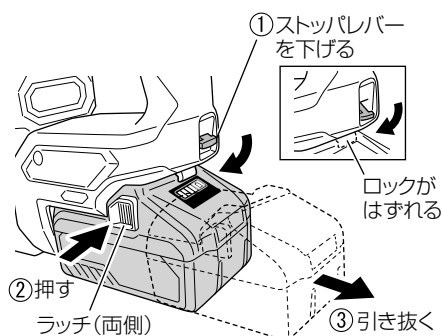
●蓄電池の取りはずし・取付け

⚠警告

蓄電池は確実に取付けてください。

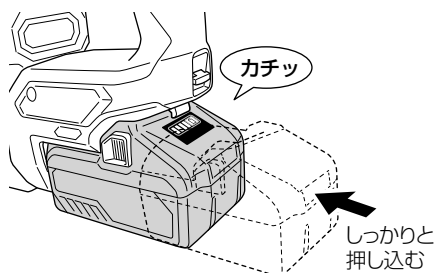
確実に固定していないと蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。

取りはずすとき



蓄電池を工具本体から取りはずすときは、ストップレバーを下げて、ロックをはずします。両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。

取付けるとき



蓄電池を取付けるときは、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

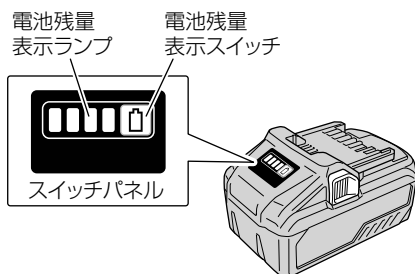
● 電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチを押してから、約 3 秒後にランプは消灯します。

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので目安として見てください。

また、残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。



ランプの点灯状態		電 池 残 量
	点灯	75% 以上
	点灯	50% ～ 75% 未満
	点灯	25% ～ 50% 未満
	点灯	25% 未満
	点滅	0%
	点滅	高温のため出力停止※ ¹
	点滅	故障のため出力停止※ ²

※1：蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。

※2：蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店にご相談ください。

工具の取付け・取りはずし

⚠ 警告

工具の取付け・取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

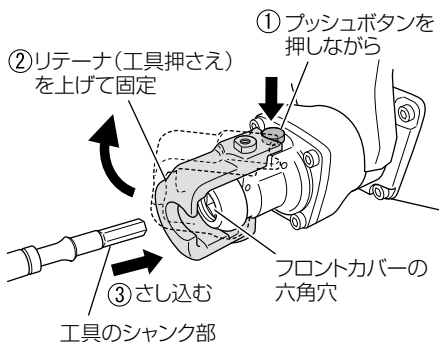
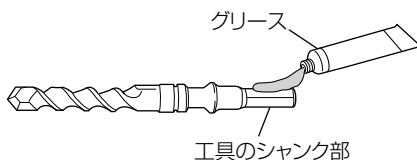
⚠ 注意

工具は、弊社指定の別売部品を使用してください。
(P.13「各種先端工具のご紹介」参照)

この機体の工具取付け部は、六角シャンク品専用となっております。
六角シャンクの先端工具または接続工具を使用してください。

取付け

- 1 工具のシャンク部をきれいに拭き、グリースまたは機械油を塗布します。
- 2 プッシュボタンを押しながら、リテーナ(工具押さえ)を少し上げて、リテーナの端部をプッシュボタンに引っ掛け、プッシュボタンを戻らなくします。
- 3 プッシュボタンから指をはなし、さらにリテーナを上げます。
- 4 工具のシャンク部をフロントカバーの六角穴へ、奥に突き当たるまでさし込みます。
- 5 リテーナをもとに戻して、工具が抜けないようにします。
確実に工具が固定されたか、工具を引いて確認してください。

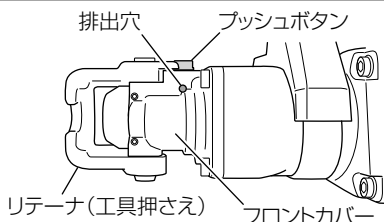


取りはずし

プッシュボタンを押し、リテーナを上げて、工具を抜き取ります。

プッシュボタンの動きが悪いとき

プッシュボタンの動きが悪いときは、排出穴より針金などで内部のごみを除去してください。
その後、お手持ちの潤滑油を排出穴に注油してプッシュボタンを数回押し、動きを良くしてください。



回転数・打撃数の調整

回転数・打撃数を調整する電子制御回路を内蔵しています。

もろい材料への穴あけ、ハツリ作業また芯出し作業など、作業内容により変速スイッチで回転数を切替えてください。

変速スイッチを押すと、表示ランプとともに回転数が段階的に切替わります。



表示ランプ

変速スイッチ

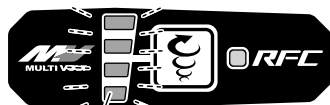
注 モーターの回転中に変速スイッチを押しても切替えはできません。
本体を停止してから、操作してください。

表示ランプ点灯状態				
回転数 min^{-1} {回/分}	260	340	410	590
打撃数 min^{-1} {回/分}	1,420	1,850	2,240	2,860

保護機能について

本製品は、工具体および制御部を保護する機能が付いており、作業中に各保護機能が作動すると、モーターが停止します。スイッチを引いている間とスイッチをはなしてから約3秒間、表示ランプが以下のように点滅してお知らせします。

各保護機能が作動したときは、ただちにスイッチから指をはなし、対処方法に従ってください。



表示ランプ

表示ランプ点滅状態	原因	対処方法
	モーターが高温になっているため (温度保護機能)	15～30分ほど機体を休めてください。 温度が下がると復帰します。
	機体に大きな負荷がかかったため (過負荷保護機能)	大きな負荷となった原因を取り除いてください。
	異常信号を検出したため (センサー異常検出機能)	故障の可能性があります。 お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

RFC(リアクティブフォースコントロール)について

本製品は、工具本体が振られてしまう現象を軽減する RFC(リアクティブフォースコントロール) が搭載されています。

急激に大きな負荷が先端工具にかかると、スリップクラッチ機構が作動または工具本体に内蔵されたコントローラがモーターを停止させ、上記現象を軽減します。

スイッチを引いている間、RFC 表示ランプが点滅します。さらに、スイッチを切ってから約 3 秒間点滅します。

点滅している間はモーターが停止します。RFC が作動した原因を取り除いてから、作業を再開してください。

作業時の状況・条件等により作動しない、あるいは性能を十分に発揮できない場合がありますので、急激に大きな負荷が先端工具にかからないよう注意し、作業してください。

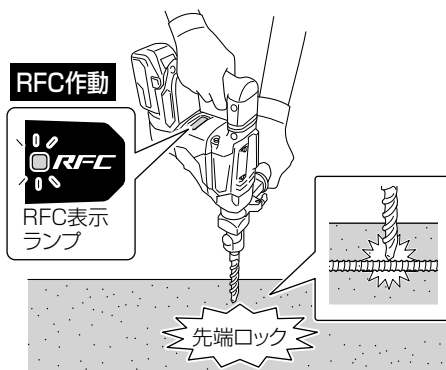
急激な負荷を発生させる原因

- ① 材料による先端工具のかみ込み
- ② 釘・金属などの接触
- ③ 本体をこじめる作業・過度な押し付け

など、および、これらの複合的な原因があります。

RFC が作動したら…

RFC が作動してモーターが停止したときは、本体のスイッチを切り、大きな負荷となった原因を取り除いてから作業を再開してください。



スリップクラッチ機構について

この機構は、作業中の機体に急激に大きな負荷がかかったとき、モーターと先端工具の

(注 1)

間の伝達部をスリップさせて、直接大きな反力がかかることを防止します。

(注 2)

注 1: コンクリートの穴あけ中に、鉄筋等に当たり急に先端工具が止まろうとする力

注 2: 先端工具が急に止まったとき、反動で機体側が回ろうとして、持っている手がねじられる力

注 スリップクラッチが作動し、先端工具の回転が停止した場合には、すみやかにスイッチを切ってください。

穴をあける

コンクリート、アンカ下穴の穴あけ作業

⚠ 警告

- 工具やストッパの取付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。
- サイドハンドルとハンドルをしっかりと握って作業してください。
工具が鉄筋などに当たると急に止まり、その反動で機体が回ろうとします。

⚠ 注意

- 作業の際、機体を無理に押し付けしないでください。
先端工具を傷めて作業効率が低下するだけでなく、機体の寿命低下につながります。
- 連続的な作業に使用する際は、シリンダケースおよびその周辺が熱くなるので、手を触れないでください。

注 気温の低いとき、あるいは長期間使用しなかったときなどは、5分間位空運転し、機体が暖まってから使用してください。
グリースが固くなっていて、モーターが回転しても打撃しない場合があります。

1

工具を取付ける

P.18「工具の取付け・取りはずし」の手順に従い工具を取付けます。

2

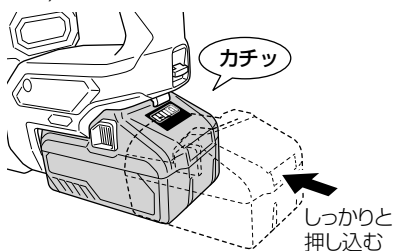
必要に応じてストッパを取付ける

P.15「ストッパの使い方」を参照してください。

3

蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。
(P.16「蓄電池の取りはずし・取付け」参照)



4

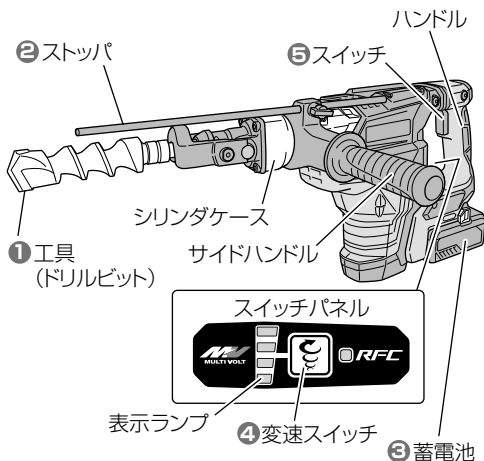
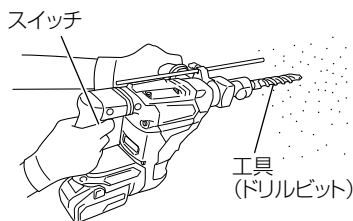
変速スイッチを設定する

変速スイッチを押して、作業に応じた回転数・打撃数を設定します。
(P.19「回転数・打撃数の調整」参照)

5

スイッチを入れる

穴あけ位置に工具の先を当ててからスイッチを入れます。



● 1 充電当たりの作業量について

1 充電当たりの作業量の目安を示します。

(穴あけ数は、コンクリートの状態、周囲温度、蓄電池特性などにより多少異なります。)

作業内容 (mm)		作業量 (穴の数) [蓄電池 : BSL 36B18 使用時]
ビット外径	深さ	
16	60	約 70 個
19		約 55 個
22		約 40 個
25		約 30 個
28		約 25 個
32		約 15 個
38		約 10 個
40		約 10 個

ハツリ・破碎する

コンクリートのハツリ・破碎・
溝掘り・角出し・はがし作業

⚠警告

工具の取付け・取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

⚠注意

- 作業の際、機体を無理に押し付けしないでください。

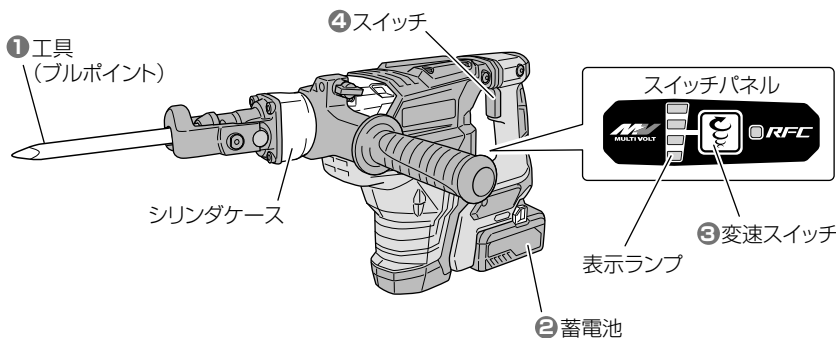
反動を押さえる程度に押し付けて作業してください。無理に突きさしたり、押さえ付けても作業の効率は上がりません。

床面のハツリ・破碎の際には、機体の自重を利用し、反動を押さえる程度に押し付けて作業してください。

- 連続的な作業に使用する際は、シリンダケースおよびその周辺が熱くなるので、手を触れないでください。

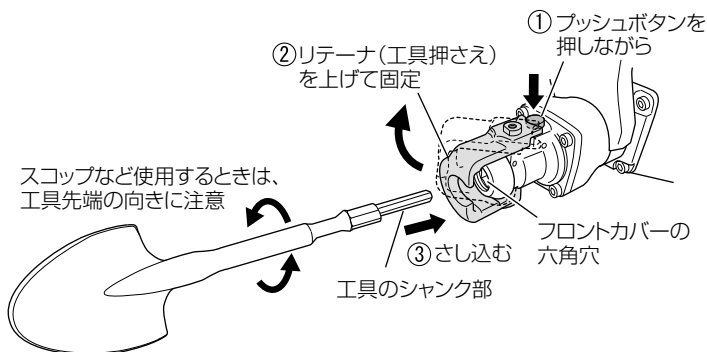
注 気温の低いとき、あるいは長期間使用しなかったときなどは、5分間位空運転し、機体が暖まってから使用してください。

グリースが固くなっていて、モーターが回転しても打撃しない場合があります。



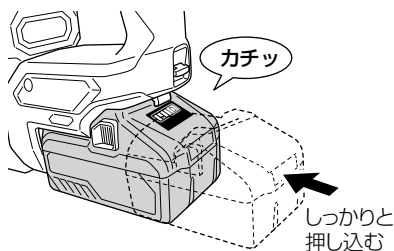
1 工具を取付ける

P.18「工具の取付け・取りはずし」の手順に従い工具を取付けます。
コールドチゼル・カッタ・スコップを使用するときは、工具先端の向きに注意してください。



2 蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がする
まで、しっかりと押し込んでください。
(P.16「蓄電池の取りはずし・取付け」
参照)

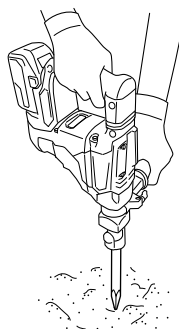


3 変速スイッチを設定する

変速スイッチを押して、作業に応じた
回転数・打撃数を設定します。
(P.19「回転数・打撃数の調整」参照)

4 スイッチを入れる

ハツリ・破碎する
位置に工具先端を
当ててからスイ
ッチを入れます。



作業上のご注意

● 連続作業について

本機はモーターおよびモーターの駆動制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。

連続作業を行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。

その際は本機を十分に冷却してください。

温度が下がれば再び使用することができます。

また、連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に工具本体を 15 分程度休ませてからご使用ください。

蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります。

● 機体の保持と押し付け力について

機体は両手で確実に保持してください。また、先端工具を必要以上に押し付ける必要はありません。

先端工具にこじる力や押し付ける力が過度にかけると、機体が故障する原因になりますのでご注意ください。

アンカの穴あけ・打ち込み作業方法

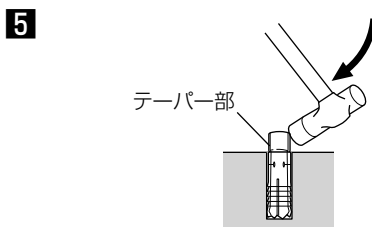
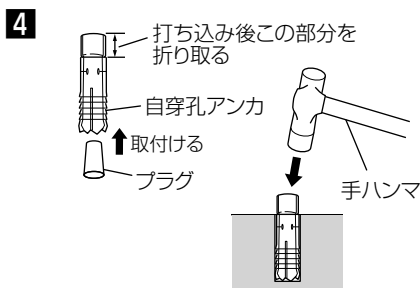
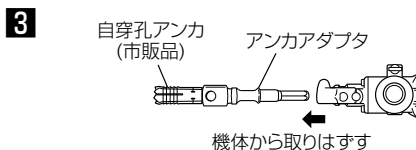
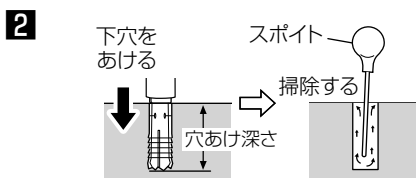
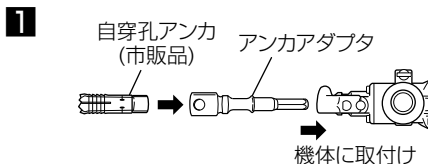
アンカの穴あけ・打ち込み作業には、アンカアダプタ・テーパシャンクアダプタなどのアンカ用別売部品を使用してください。

⚠ 注意

折り取ったテーパ部が飛ぶので、折り取る方向に注意してください。

取付け

- 1 機体にアンカアダプタ、自穿孔アンカの順に取付けます。



使い方

コアビット【別売部品】の使い方

コアビット、センタピン、コアビットシャンクなどのコアビット用別売部品を使用すると、大口径の貫通穴、止まり穴をあけることができます。

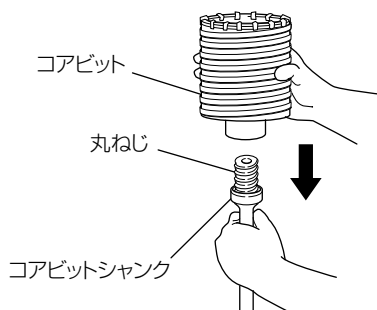
⚠警告

コアビットシャンク、ガイドプレート、センタピンの取付け、取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具体体から抜いてください。

1

コアビットシャンクに コアビットを取付ける

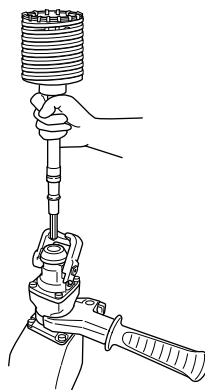
丸ねじ部に油を塗っておくと、分解するときにゆるみやすくなります。



2

コアビットシャンクを 機体に取り付ける

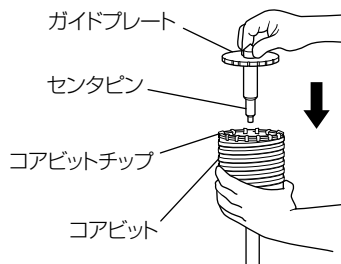
P.18の「工具の取付け・取りはずし」と同じ要領で取付けます。



3

ガイドプレート、センタピンをコアビットにさし込む

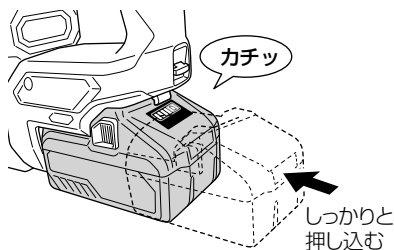
- ① ガイドプレートにセンタピンを奥までさし込みます。
- ② ガイドプレートの凹部をコアビットチップに合わせてはめ込み、左・右どちらかに回します。



4

蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。
(P.16「蓄電池の取りはずし・取付け」参照)



5

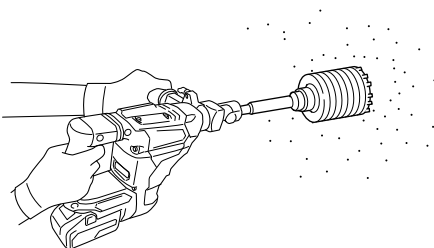
変速スイッチを設定する

変速スイッチを押して、作業に応じた回転数・打撃数を設定します。
P.19「回転数・打撃数の調整」参照

6

スイッチを入れる

あけたい穴の中心にセンタピンを合わせ、穴あけを開始します。



7

位置決めの完成

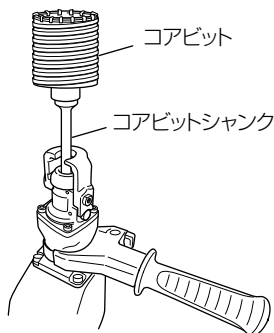
約 5 mm 穿孔すると位置決めの溝が完成します。

コアビットからセンタピン、ガイドプレートを取りはずして、完成した位置決めの溝に合わせて穴あけをすめます。

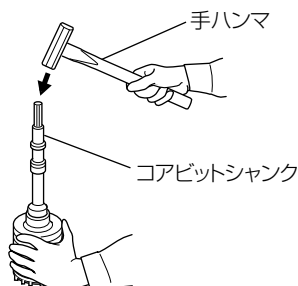
8

コアビットを取りはずす

- ① コアビットシャंकを機体に挿入したまま上向きにして、2～3回無負荷運転で打撃します。



- ② 機体からコアビットシャंकをはずしてコアビットを手で持ち、コアビットシャंकの頭を手ハンマで2～3回強打すると、丸ねじがゆるみ、取りはずすことができます。



蓄電池を充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

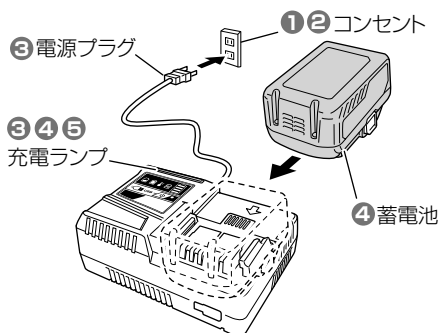
⚠ 警告

手順 ①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

充電時間

BSL 36B18 : 約 40 分

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。



1

電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。
200 V 電源や直流電源、昇圧器などの
トランス類を使用しないでください。

2

コンセントを確認する

コンセントがガタついたり、電源
プラグが抜け落ちてしまうときは、
接続しないください。
そのまま使用すると危険です。

3

電源プラグをコンセントに さし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。
(P.30「充電ランプの表示について」参照)

4

蓄電池を充電器にさし込む

- 蓄電池をしっかりと突き当たるまで
さし込んでください。
- 充電を開始すると、充電ランプが青
に連続点灯して、充電開始をお知ら
せします。
- 充電中は、電池容量ランプで充電容
量を表示します。






5

充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが緑
に連続点灯し、ブザーが「ピー」と
6 秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、
充電器から蓄電池を抜き取ってくだ
さい。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」がついています。
各ランプの表示内容は以下のようになっています。






ランプ	ランプの表示			表示内容
充電ランプ (赤/青/緑/紫)	充電前	赤点滅	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	充電中	青点灯	連続点灯 	
	充電完了	緑点灯	連続点灯  (連続ブザー音: 約 6 秒)	
	高温待機	赤点滅	0.3 秒点灯 / 0.3 秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できない (温度が下がると自動的に充電を開始)
	充電不可	紫の速い点滅	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯  (断続ブザー音: 約 2 秒)	充電器または蓄電池の端子部に異物が入っている

注 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

●電池容量ランプについて

電池容量ランプによって、充電中の電池の充電容量を確認することができます。
ランプの表示と電池容量は以下のようになっています。



ランプの表示					
電池容量	25% 未満	50% 未満	75% 未満	75% 以上	充電完了

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

注 充電完了後、しばらくすると電池容量ランプは消灯します。

⚠警告

- 使用前に、接続する USB ケーブルが損傷していないことを確認してください。
損傷した USB ケーブルを使用しますと、発煙・発火の原因になります。
- 使用しないときは、USB 端子にゴムカバーを被せてください。
USB 端子にほこり等が付着すると、発煙・発火の原因になります。

充電器 UC18YDL には、電動工具用リチウムイオン電池を充電する以外に、一般の USB 機器を充電できる USB 端子を装備しています。

電源のない場所で弊社のリチウムイオン電池から携帯電話などの USB 機器を充電することができます。

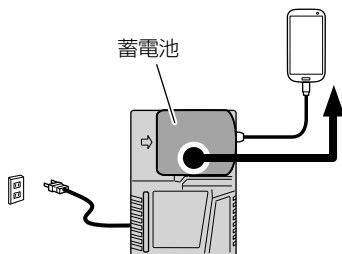
- 注**
- USB 機器と蓄電池の充電を同時に行うと、充電時間が長くなります。
 - USB 機器の充電が途中一時停止する場合があります。
(詳細は、P.37「故障診断」参照)。
 - USB 機器を充電しないときは、USB 電源スイッチを OFF にして、USB 機器を充電器から取りはずしてください。
USB 機器の蓄電池寿命(充電回数)を縮めたり、思わぬ事故の原因になります。
 - USB 機器の種類によっては、充電できない場合があります。

1

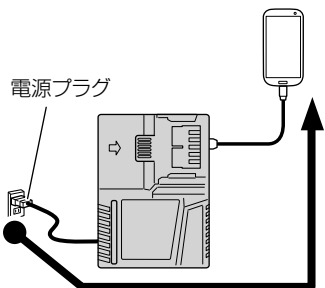
充電方法を選択する

充電方法に応じて、蓄電池を充電器にさし込むか、電源プラグをコンセントにさし込みます。

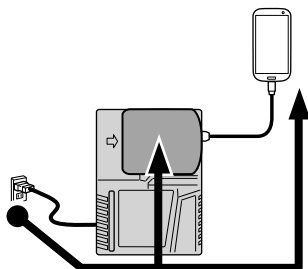
蓄電池から USB 機器を充電



100V コンセントから USB 機器を充電



100V コンセントから蓄電池と USB 機器を同時に充電



2 USB 電源スイッチを ON にする

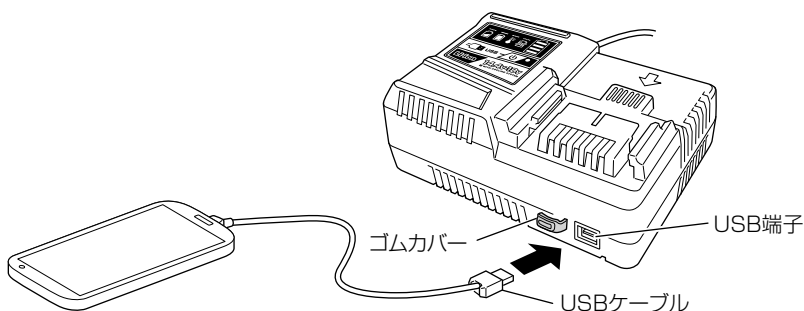
USB 電源スイッチを ON にすると、USB 電源ランプが点灯します。



USB電源スイッチ
USB電源ランプ

3 USB ケーブルを接続する

ゴムカバーをめくり、ご使用の製品に合った市販の USB ケーブルを USB 端子に奥までしっかりとさし込みます。



- 電源プラグをコンセントにさし込んでいない場合、蓄電池の容量がなくなると、USB 電源ランプが消灯して出力が停止します。
- USB 電源ランプが消灯したときは、電源プラグをコンセントにさし込むか、蓄電池を交換してください。

4 充電が終わったら

- USB 機器の充電が終わっても、USB 電源ランプは消えません。充電状態は USB 機器で確認してください。
- USB 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 充電器から蓄電池を抜き取り、USB 端子にゴムカバーを被せてください。

保守・点検

⚠ 警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。
また充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● グリースの交換

この機体はグリース密封構造となっていますので、ほこりの侵入を防ぎ、グリースは漏れない構造となっています。従って、長期間無給油で使用できます。
しかし、機体を長持ちさせるために6か月ごとにグリースの交換をしてください。

注 機体へ使用しているグリースは特殊グリースです。他のグリースを使用した場合、性能を損なう恐れがありますので、必ずグリースの交換はお買い求めの販売店にご依頼ください。

● 工具の点検

摩耗した工具を使用するとモーターに無理をかけることになり、また能率も落ちますので早めに研磨するか新品と交換してください。

● 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

● 蓄電池端子部の点検

端子部に切りくず、ほこりがたまっている場合は、取り除いてください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

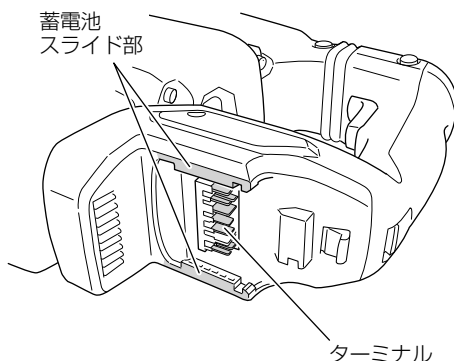
●モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）（P.9「各部の名称」参照）に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させてください。
機体内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●蓄電池取付部の清掃について

コンクリート穴あけ後、蓄電池取付部のターミナルや蓄電池スライド部にコンクリート粉じんが付着した際は、乾いた布などで付着したコンクリート粉じんを清掃してから使用してください。
また、清掃後、本体と蓄電池がスムーズに脱着することを確認してください。



注 コンクリート粉じんが付着したまま使用すると、使用中に蓄電池が落下するなど、事故の原因になります。
また、蓄電池とターミナルの接触不良や故障する原因になります。

●作業後の保管

作業後は、温度が 50℃未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

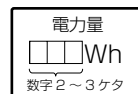
●リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が 100 Wh を超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。
- BSL36B18 は工具本体に取付けると 100 Wh を超え、危険物扱いとなります。



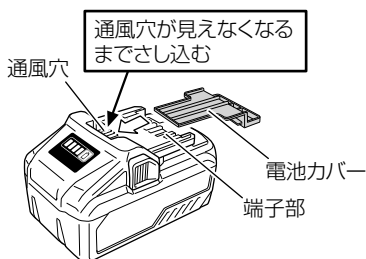
BSL36B18

●リチウムイオン電池の保管について

⚠警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池力バーを取付けて保管してください。



注 リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
また、充電器や蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

1. 工具体

状 況	原 因	対 策
動かない	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池が確実に取付いていない	カチッとなるまで蓄電池を押し込んでください。
	蓄電池取付部のターミナルおよび蓄電池スライド部にコンクリート粉じんが付着している	乾いた布などで、付着したコンクリート粉じんを清掃してください。
	スイッチを引いたまま蓄電池を取付けた	スイッチをはなした状態で蓄電池を取付けてください。
突然止まった	過負荷になった	大きな負荷となった原因を取り除いてください。 (P.20「RFC について」参照)
	RFC が作動した	
	蓄電池または本体が過熱状態になった	蓄電池および本体を十分冷ましてください。
先端工具が取付かない 抜ける	取付け部形状が合わない	六角シャンクタイプで、指定の範囲内の径のものを使用してください。
穴あけが上手にできない	ドリルが摩耗している	新しいドリルに交換してください。
蓄電池が取付かない	指定以外の蓄電池を取付けようとした	蓄電池はマルチボルトタイプを使用してください。

2. 充電器

状 況	原 因	対 策
充電ランプが紫の速い点滅を繰り返し、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池の取付部または蓄電池の端子部に異物が入っている	異物を取り除いてください。
充電ランプが赤く点滅して、蓄電池の充電を開始しない	蓄電池が突き当たるまで、さし込まれていない	しっかりとさし込んでください。
	蓄電池が高温になっている	そのままの状態でも、蓄電池の温度が下がると自動的に充電を開始しますが、蓄電池の寿命を縮める原因になります。蓄電池を風通しの良い日かげなどで冷ましてから、充電することをおすすめします。
満充電をしても、蓄電池の使用時間が短い	蓄電池の寿命が尽きた	蓄電池を新品と交換してください。
蓄電池の充電時間が長い	蓄電池や充電器の温度、周囲気温などが極端に低い	室内など暖かい場所で充電してください。
	充電器の風窓がふさがった状態になっているため、充電器内部が高温になっている	風窓がふさがっていないようにしてください。
	冷却ファンが回っていない	販売店に修理を依頼してください。
USB 電源ランプが消灯して、USB 機器の充電が停止した	蓄電池の電池残量が少なくなった	電池残量がある、蓄電池と交換してください。
		充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んでください。
USB 機器の充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	USB 電源ランプは、USB 機器の充電ができる状態にあることを緑色の点灯で表示している	故障ではありません。
USB 機器の充電状態や充電完了がわからない	USB 電源ランプは、充電が完了しても、USB 電源ランプが消灯しない	充電中の USB 機器で確認してください。
USB 機器の充電が途中一時停止した	蓄電池を供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器の電源プラグを 100 V コンセントにさし込んだ	故障ではありません。 充電器が供給元電源を判別するため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
	100 V コンセントを供給電源にして USB 機器を充電中に、充電器に蓄電池をさし込んだ	
蓄電池と USB 機器を同時に充電中、USB 機器の充電が途中一時停止した	蓄電池が満充電となった	故障ではありません。 蓄電池が正常に充電完了したことをチェックしているため、約 5 秒間 USB 機器の充電を停止します。
蓄電池と USB 機器を同時に充電する際、USB 機器の充電が開始しない	蓄電池の電池残量が極端に少ない	故障ではありません。 蓄電池の電池残量があるレベルに達すると、自動的に USB 機器の充電を開始します。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ


お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00 ~ 17:00

●フリーダイヤル

 **0120-20-8822**

※携帯電話からはご利用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896-1740	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 6738-0872	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点を
ご確認いただけます。

<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認い
ただけます。



〒108-6020 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>